

ダムを建設することにより、沿川住民の安全を確保する

事業の概要

鳥羽河内ダムは、二級河川加茂川水系の鳥羽河内川に治水ダムとして建設するもので治水計画の一環をなすものです。

加茂川水系では、今までに幾度となく洪水を繰り返し、たくさんの人たちを苦しめてきました。とくに、昭和57年と昭和63年の洪水では大きな被害を受け、家屋・農地・公共施設等が浸水し、尊い4名の人命が失われました。

このため、加茂川においては災害復旧助成事業により改修しており、さらに治水安全度を高めるため、治水専用のダムを建設するものです。

災害の状況

国道167号 灰原橋付近



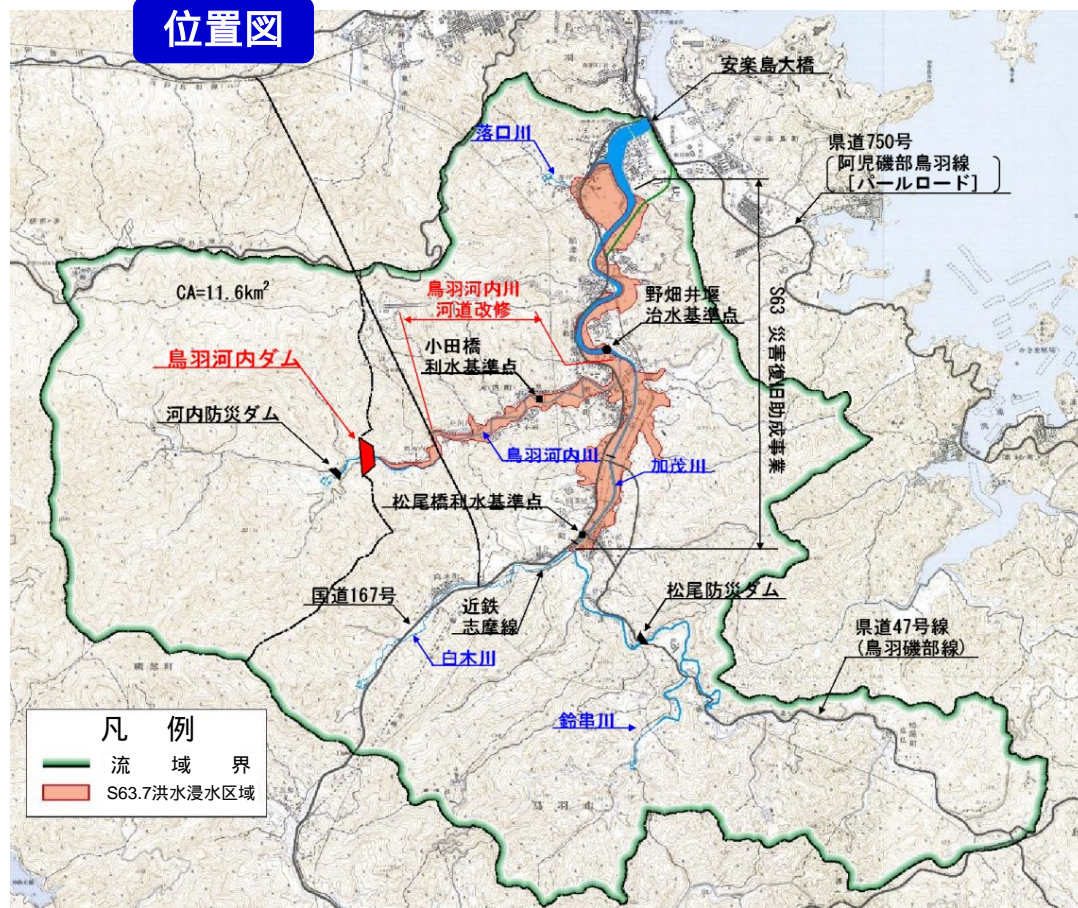
昭和63年7月14日 集中豪雨

河内町 小野田橋付近



平成27年9月9日 台風18号

位置図



ダム建設事業

施工期間：昭和50年度～令和10年度（予定）

総事業費：約195億円

ダム型式：重力式コンクリートダム（流水型ダム）

ダム高さ：H= 39m

ダム長さ：L=193m

令和5年度からダム本体工事に着手



流水型ダムとは

